

会長定例会見（平成27年9月度）概要

1. 開催日時

平成27年9月3日（木）14:00～14:30

2. 出席者

奥野会長、田波副会長、比嘉専務、大西常務、金井常務

3. 会長発言要旨

○ 改正農協法の成立について

- ・ 農協法について、先月28日参議院を通過し、成立した。中身については、参議院の先生がたに尽力いただき、付帯決議のなかに相当盛り込まれた。成立後に、マスコミの皆さんに会長談話も出したが、私の思いはそれにつきる。

○ 27年産米について

- ・ 飼料用米等へのふりかえが進み、主食用米の生産が8,000ha下回ったということで、米価の浮揚効果が期待されている。台風の影響や地域による作柄の違いもあり、作況が気になるところ。
- ・ 本来豊作は農家にとってありがたいことにも関わらず、価格下落につながるという極めて不自然な状態。何とかしないといけないと問題意識を持っている。
- ・ 全国のJAが努力して概算金を提示している。流通業界にもこれを受け止めてほしい。

○ 米先物取引について

- ・ 上場が再延長された。前回より厳しい条件で認可されたと認識している。堂島は米取引の本場なので、頑張っておられるが、上場する量も多くなく、現在の価格形成に影響を与えるものではない。
- ・ 米は自由に市場で取引されるものではないし、大事な食料を投機対象にしたくないという思い。

○ 平成 28 年度農業関係予算について

- ・ 概算要求は既に農水省から示されているので、様々な折衝のなかで、12月末の予算編成まで議論がある。特に畜産については、畜産クラスターという地域ぐるみで収益性を上げていく取り組みについて、配慮いただいているので、感謝している。

○ 安倍首相をはじめとした与党幹部の方々との面会について

- ・ 首相や与党幹部の方々と会った。私の言っている対決から対話へ路線変更は、きちんと評価を頂いていると感じる。

○ J A 全国大会議案について

- ・ (萬歳前会長が) 総合審議会に諮問し、長い時間をかけて議論いただいております、これを尊重しながら進めていく。総合審議会では、各 J A ・ 県段階組織での議論を踏まえ、9月なかごろにかけて、一定の結論を得ていく。

以 上